

2023年6月期第3四半期決算説明資料



上場市場 : 東証プライム 札証
証券コード : 9450

 **2023年6月期3Q決算実績**

 **2023年6月期通期決算見通し**

 **トピックス**

Appendix

1

2023/6期3Q累計実績：14%増収39%経常増益

- ✓ 3Q累計の経常利益率は20%超を回復。成長鈍化懸念は杞憂となり、通期見通しへの進捗率も経常利益では87%に到達
- ✓ 3Q経常利益率は24%と上場来最高を更新。新築案件の貢献開始でホームユースの成長が加速。ビジネスユースもコロナ前水準に接近

2

2023/6期見通し：21%増収22%経常増益

- ✓ 従来見通し据置き。進捗率を考えれば達成の公算大と認識。むしろどれだけ上積みできるかが焦点
- ✓ セグメント別には新築案件貢献のホームユースが想定を上回る展開。ビジネスユースはリードタイムがかかる分遅れ気味の展開

3

トピックス



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

2023年6月期3Q決算実績

- 2023/6期3Qは累計ベースで前年比14%増収、39%経常増益。経常利益率も20%超を回復。期初はやや成長鈍化を懸念したものの、懸念は杞憂に。通期見通しへの進捗率も経常利益では87%に到達
- 主力のホームユース事業は好調に推移。これまでの既築案件に加え、リードタイムの長かった新築案件も遂に寄与がスタート。ビジネスユース事業も人流回復などに伴い、徐々に加速

(百万円) 百万円未満切り捨て 0.1%未満四捨五入	2022/6期 3Q実績	2023/6期 3Q			2023/6期通期	
		実績	前年差異	前年比	見通し	進捗率
売上高	7,200	8,228	+1,027	+14.3%	12,900	63.8%
ホームユース	6,040	7,134	+1,093	+18.1%	9,320	76.5%
ビジネスユース	936	1,062	+125	+13.5%	1,830	58.0%
不動産他	224	32	▲192	▲85.5%	1,750	1.9%
営業利益	1,249	1,737	+488	+39.1%	2,020	86.0%
ホームユース	1,719	2,286	+566	+33.0%	2,530	90.4%
ビジネスユース	188	206	+17	+9.2%	570	36.2%
不動産他	23	▲7	▲30	-	80	-
調整	▲683	▲748	▲65	-	▲1,160	64.5%
経常利益	1,228	1,719	+490	+39.9%	1,960	87.7%
経常利益率	17.1%	20.9%	+3.8pp	-	15.2%	-
当期純利益	826	1,176	+350	+42.2%	1,300	90.6%

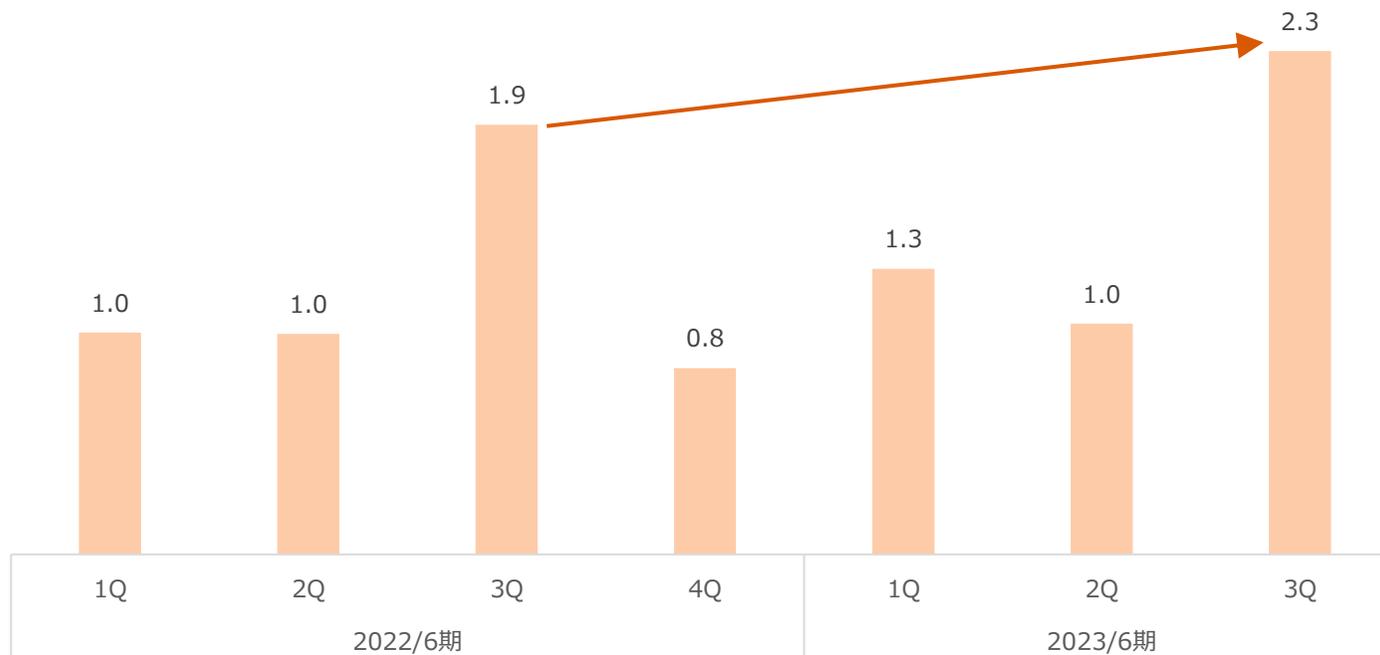
- 3Q四半期としては2Qに続き、売上・利益とも過去最高を更新。対前年3Qとの比較でも2ケタ超の増収増益を継続。新築需要の貢献開始でホームユースの成長が加速。ビジネスユースもコロナ禍発生前の水準に接近
- 3Qの経常利益率は24%と、上場来最高を更新。ストックビジネス積上げによりホームユースで高採算の維持が貢献し、営業利益は過去最高を達成。ビジネスユースも立て直し進捗で利益率が大きく改善

(百万円)	2022/6期				2023/6期			2Q/3Q 比較	前3Q/3Q 比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上高	2,258	2,323	2,618	3,423	2,591	2,612	3,024	+412	+405
ホームユース	1,930	1,977	2,132	2,101	2,256	2,245	2,632	+387	+500
ビジネスユース	257	336	342	308	329	350	381	+30	+39
不動産他	70	10	144	1,013	5	16	10	▲6	▲133
営業利益	288	445	515	403	480	511	745	+234	+230
ホームユース	451	611	656	598	671	717	897	+179	+240
ビジネスユース	53	76	58	46	46	70	89	+19	+30
不動産他	0	3	19	28	▲8	4	▲2	▲6	▲21
調整	▲216	▲246	▲219	▲270	▲229	▲280	▲238	+42	▲18
経常利益	279	439	509	375	480	500	737	+236	+228
経常利益率	12.4%	18.9%	19.5%	11.0%	18.5%	19.2%	24.4%	+5.2pp	+4.9pp
当期純利益	182	299	345	246	337	338	499	+160	+154

*百万円未満切り捨て、0.1%未満四捨五入

- 3Q四半期のホームユース事業新築案件開通戸数は過去最高を更新。季節的に案件数は増加する傾向にあるが、対前年同期でも17%の急ピッチで増加
- 全開通戸数に占める新築案件の割合は3Q四半期で50%弱

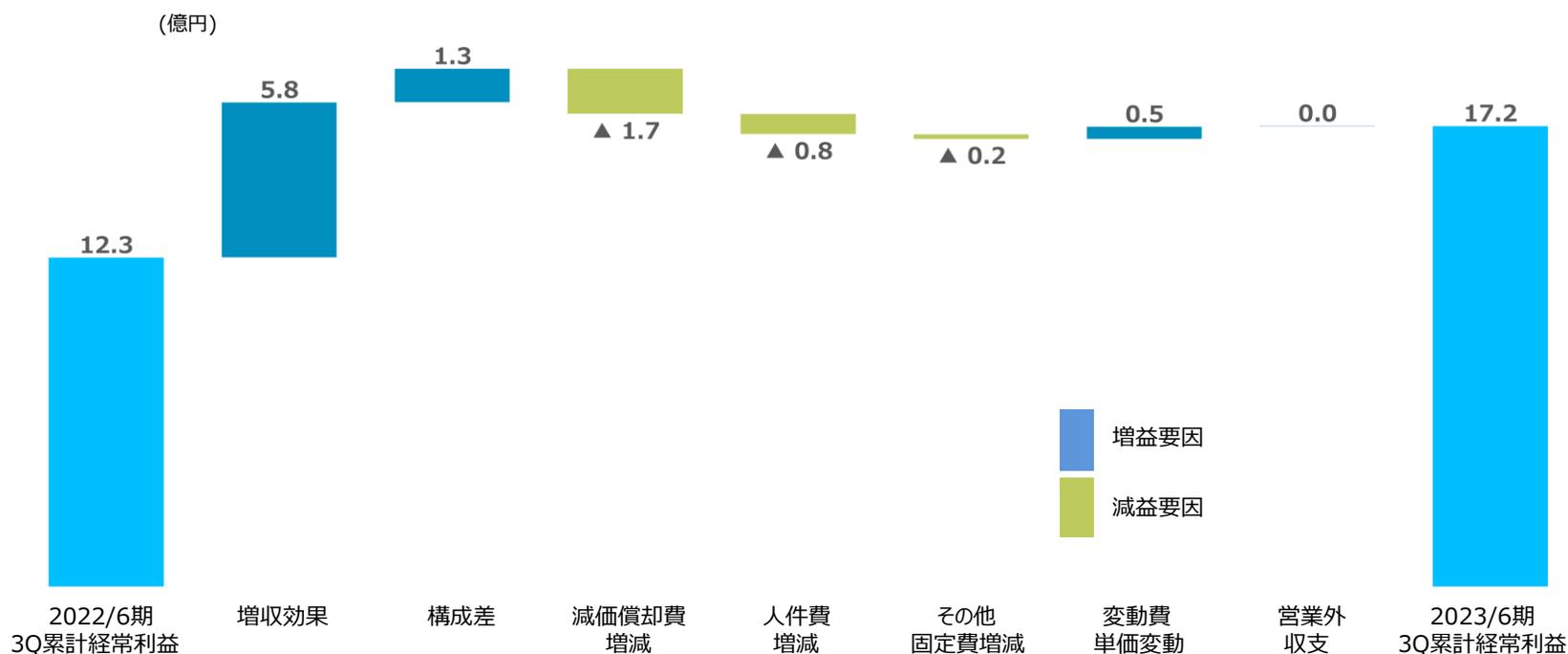
ホームユース事業 新築案件開通戸数推移



*2022/6期1Qの新築開通戸数を1とした場合の指数表示

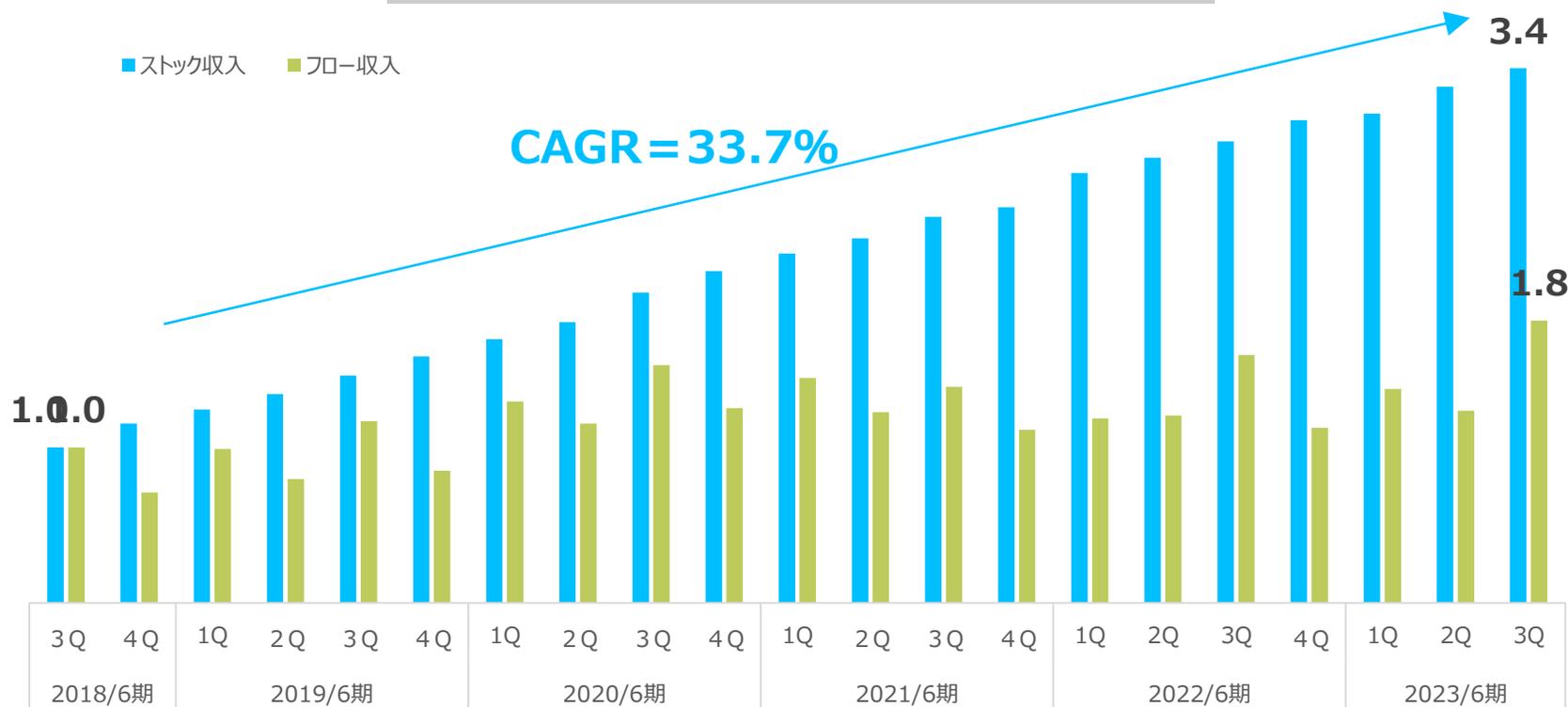
- 前年比経常大幅増益の主因は引続き売上増に伴う増収効果。採算のよいサービスの提供増による構成差改善も貢献し、事業拡大に伴う人件費や減価償却費用増を吸収
- 回線の有効活用などによる変動費単価の引下げも継続。回線使用料自体は膨らんでいるものの、効率的な運用で単位当たりのコスト抑制を実現する構図に変化はなし

2023/6期3Q累計経常利益 増減益要因分析



- ストック収入の拡大は上場来20四半期連続。直近は既築案件に新築案件が加わり、増加基調はむしろ加速。3Qの対前四半期成長幅は過去最高を更新。年平均成長率は徐々に低下も、これは売上規模拡大が影響
- 一方、フロー収入は2018/6期3Q比1.8倍。こちらも四半期ベースでは過去最高を更新

ストック収入・フロー収入（除く不動産）の四半期推移



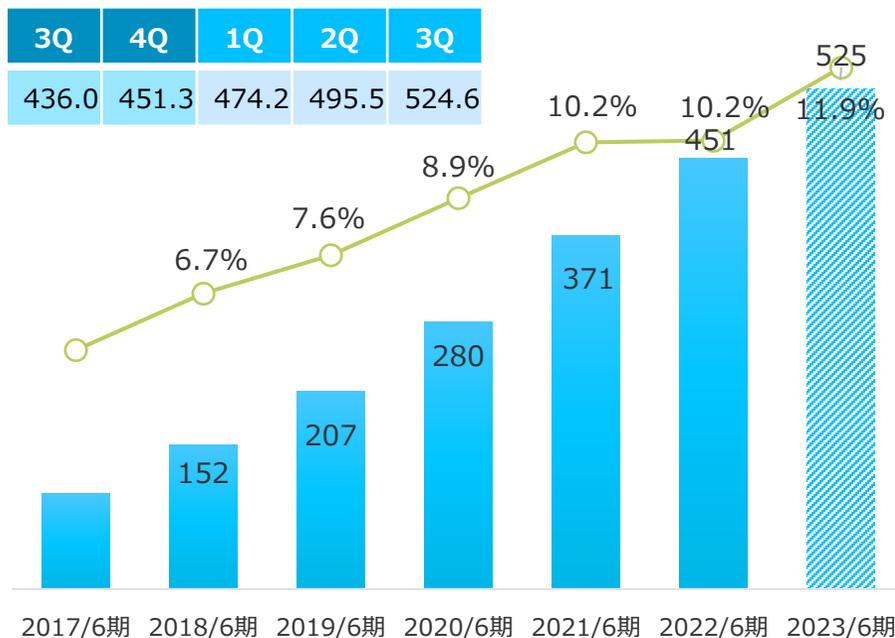
注) 2018/6期3Q=1 として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある
 この収入内訳は当社定義に基づく連続性のある比較数字であり、収益認識基準下における期間按分売上などは厳密には異なる

- レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数は約53万戸。新築案件の顕在化から接続済戸数の増加ピッチは加速
- 当期から戦略領域と位置づけたビジネスユースでは、先行指標としてフロービジネス売上に注目。人流が回復する中、営業強化による知名度向上やリピートニーズ対応が徐々に奏功。3Q累計でほぼ前年並みの水準を確保

レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数と全国シェア*の推移

■ レジデンスWi-Fiサービス接続済戸数（千戸） ● 全国シェア

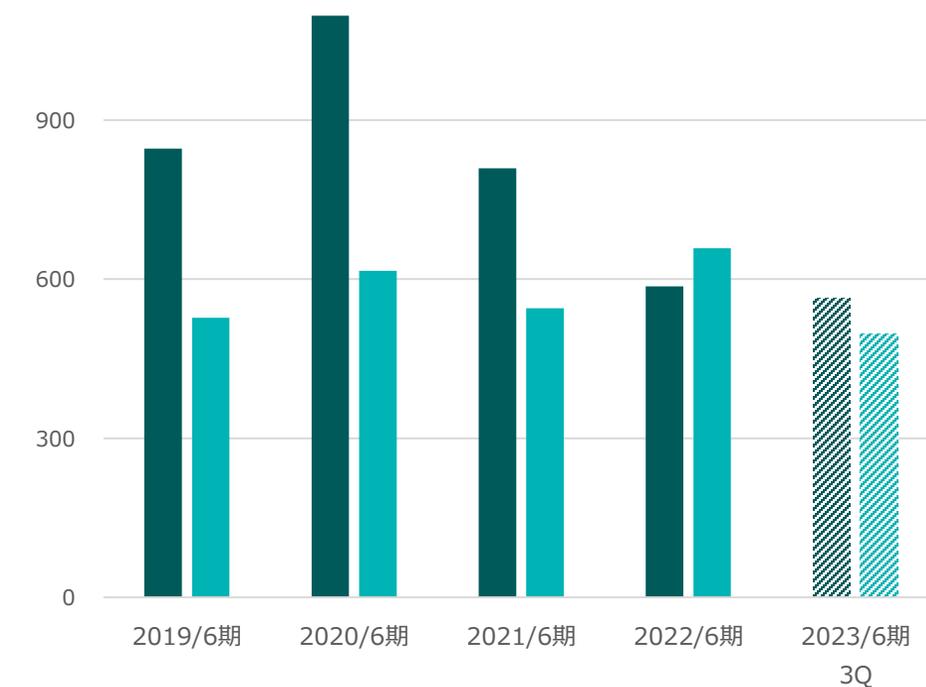
過去5四半期の推移



*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

フロー/ストック別ビジネスユース売上高推移

■ フロー ■ ストック (百万円)



連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率31.3%。収益認識基準適用で一旦低下も、2期ぶりに30%超の水準を回復
- 事業拡大にキャッシュアウトが先行する構図は継続。ただし、事業拡大に伴うキャッシュフロー増により、借入金増加には歯止めかかる

(百万円)	2021/6期	2022/6期	2023/6期 3Q	2022/6期 比増減	
流動資産	3,920	6,028	6,362	+333	不動産在庫増もあり、通常通りキャッシュアウト先行
現預金	2,196	2,303	1,952	▲351	
売掛金	1,234	1,375	1,635	+260	需要堅調に対応
棚卸資産（通信）	311	654	771	+116	これまで大きな不動産売買なし
棚卸資産（不動産）	55	1,426	1,616	+189	
固定資産	5,475	7,057	7,576	+519	Wi-Fi契約増に伴い増加
有形固定資産	5,246	6,204	6,806	+602	
総資産	9,397	13,087	13,939	+852	借入金抑制で対応
負債	5,720	9,808	9,516	▲291	
有利子負債	4,453	6,653	6,232	▲421	自己資本比率31.3% 新基準適用後、2期で30%超を回復
契約負債	-	1,958	1,730	▲228	
純資産	3,677	3,279	4,422	+1,143	
負債純資産合計	9,397	13,087	13,939	+852	

*百万円未満切り捨て、0.1%未満四捨五入



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

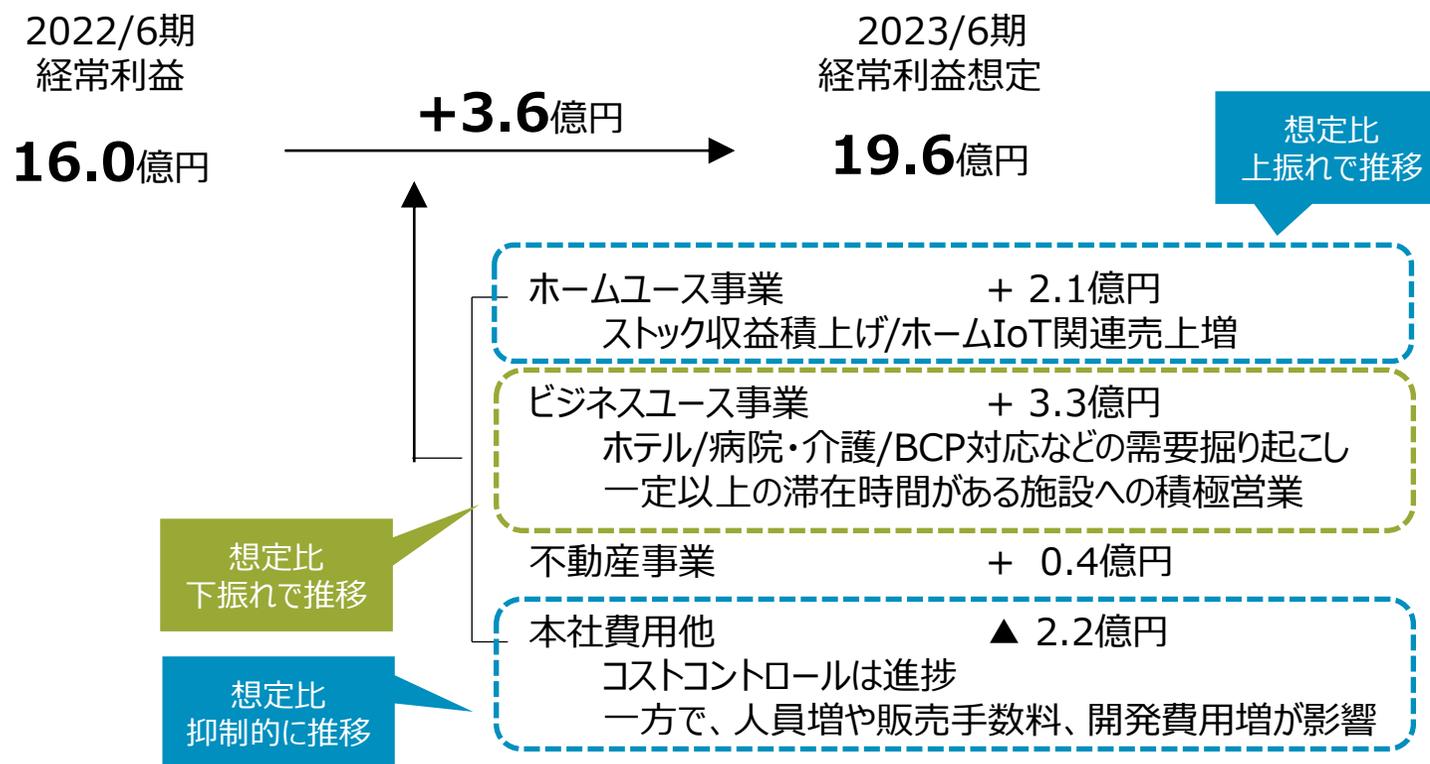
2023年6月期通期決算見通し

2023/6期連結決算見通し① 総括表

- 2023/6期は21%増収22%経常増益の見通しを据置き。進捗率を考えれば達成の公算大と認識。むしろどれだけ上積みできるかが焦点。成長再加速には一定の手応え
- セグメント別には新築案件貢献するホームユースが想定を上回る展開。ビジネスユースはリードタイム分遅れ

(百万円。百万円未満切り捨て)	2021/6期	2022/6期	2023/6期 見通し	前年比	
				増減額	増減率
売上高	8,491	10,624	12,900	+2,275	+21.4%
ホームユース	7,067	8,141	9,320	+1,178	+14.5%
ビジネスユース	1,353	1,244	1,830	+585	+47.0%
不動産	70	1,238	1,750	+511	+41.3%
営業利益	1,559	1,652	2,020	+367	+22.2%
ホームユース	1,871	2,318	2,530	+211	+9.1%
ビジネスユース	441	235	570	+334	2.4倍
不動産他	6	52	80	+27	+53.8%
調整	▲759	▲953	▲1,160	▲206	▲21.6%
経常利益	1,543	1,604	1,960	+355	+22.2%
当期純利益	1,019	1,073	1,300	+226	+21.1%

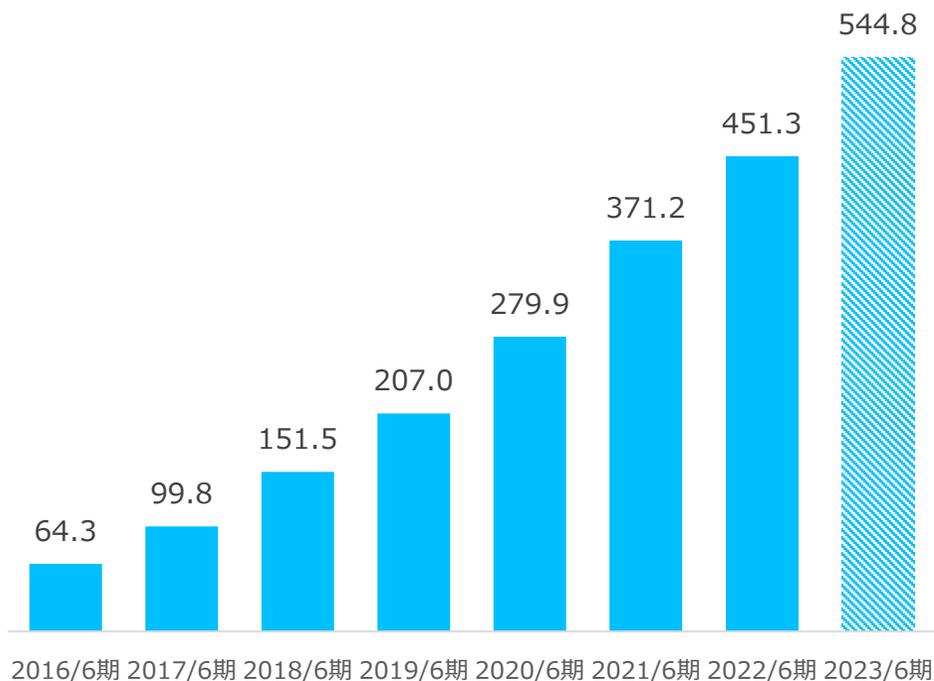
- 前期比3.6億円の経常増益見通しはビジネスユース事業の貢献を想定。しかし、この事業の寄与は想定比やや下振れの公算。ホテル/病院・介護/BCP対応など需要掘り起こし急ぐも、「勝ちパターン」確立には要時間
- 一方、ホームユース事業は既築案件の順調に加え、新築案件開拓の成果が発現。想定比上振れの公算
- 本社費用他は人件費や開発費などを主因にコストアップ継続を予想も、想定比では抑制的に推移



- レジデンスWi-Fi累積契約戸数の前提は前年比9万戸超の増加となる544.8万戸と設定。現状はほぼ想定通りの拡大ピッチ。新築案件開拓効果などが契約戸数増加を牽引
- ビジネスユースではフロー売上を前年比1.8倍と想定。実際に伸びが鮮明となるものの、当初想定到達に向けてさらなる加速を急ぐ

レジデンスWi-Fi契約戸数

(単位：千戸)

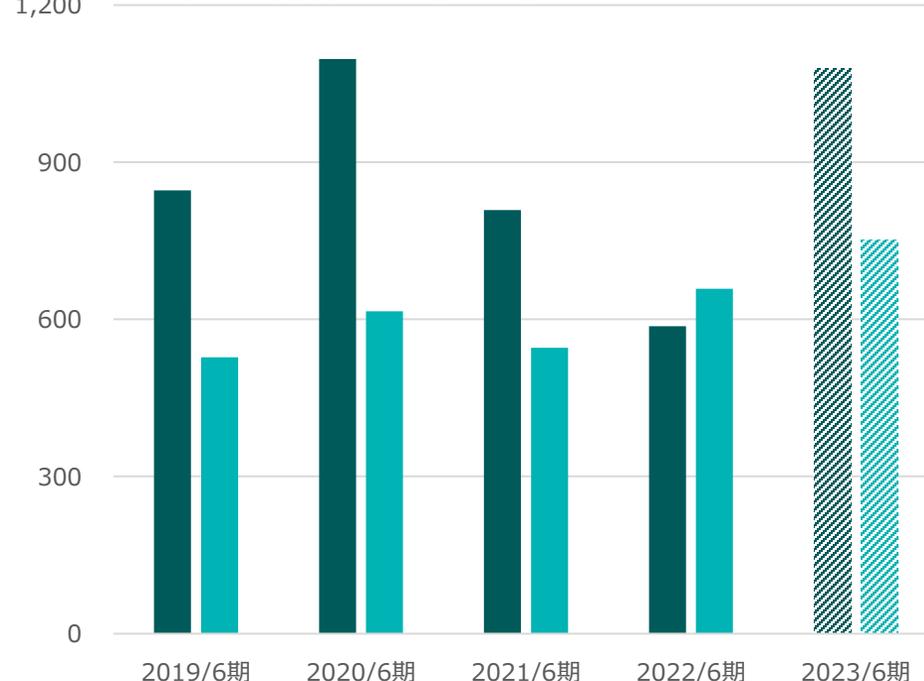


*

* 2016/6期は6ヵ月決算

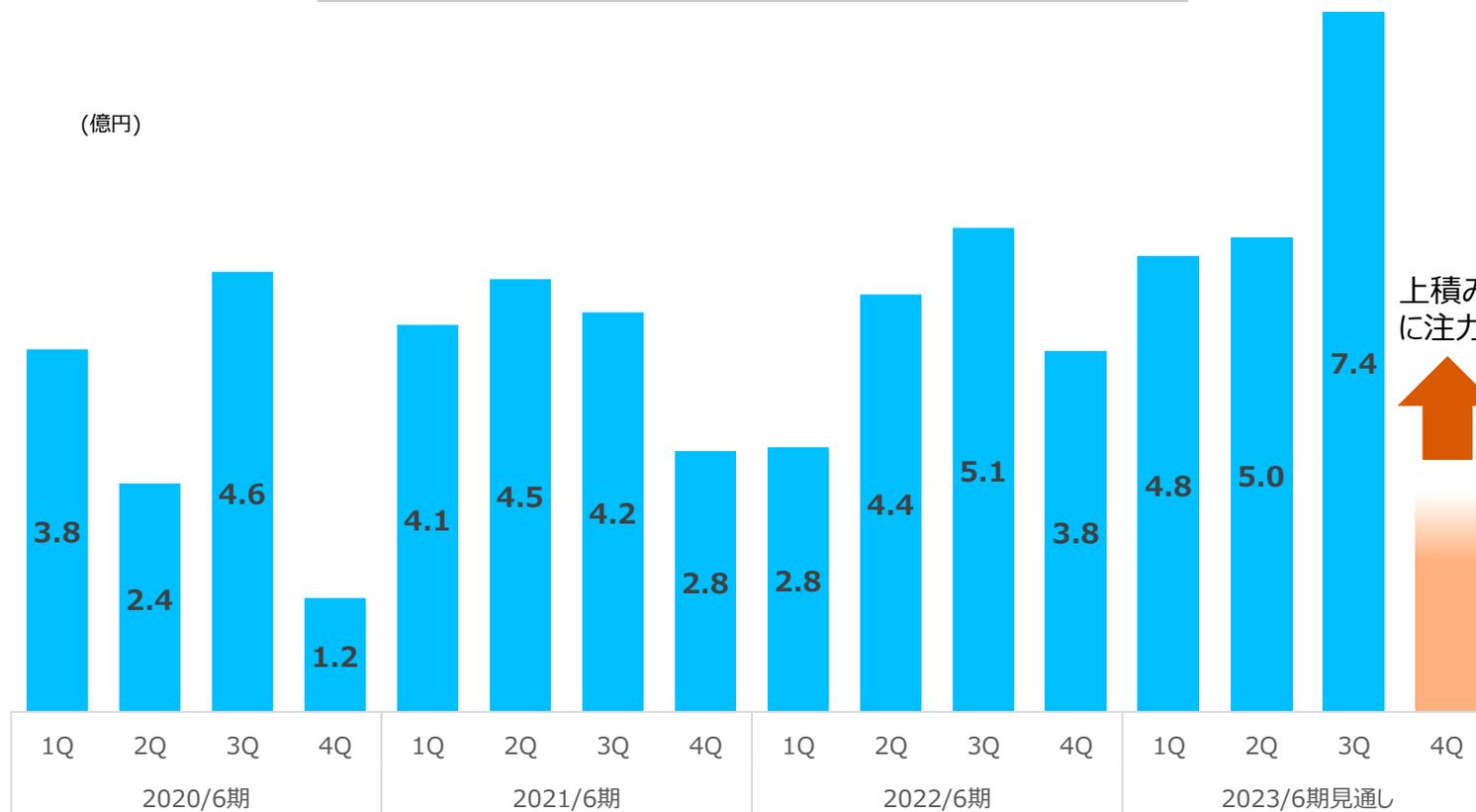
フロー/ストック別ビジネスユース売上高推移

(百万円)



- 四半期別に見ると、2023/6期は期を追って業績が改善。通期見通し達成には4Qは急ブレーキでも充分という水準まで到達。むしろ、上振れ着地に向けて注力を継続
- 2027/6期には売上250億円、経常利益率17%超を目指す中計実現には、この期を追って拡大するトレンドの維持が重要と認識

四半期別経常利益の推移イメージ





Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

トピックス

- 1** **ビジネスユース：「Tosenbo®」の販売開始**
- 2** **ホームユース：EV充電のテラモーターズ社と業務提携**
- 3** **再生可能エネルギー：
「オフグリッドパワー蓄電池」の開発に着手**
- 4** **人的資本経営について**
- 5** **SDGs進捗**
- 6** **期末配当予想の修正（創業20周年記念配当）**

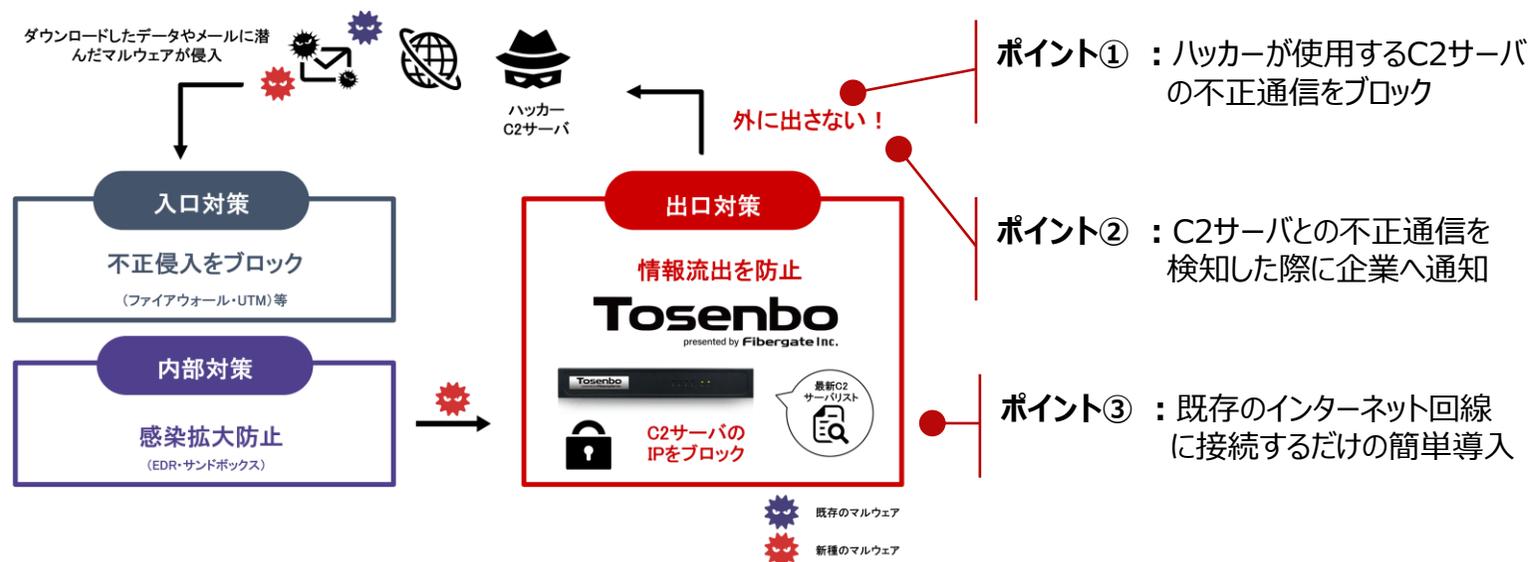
不正侵入遮断システム「Tosenbo[®]」 ～情報を漏洩させないセキュリティ対策「出口対策」～

Tosenbo
 presented by **Fibergate Inc.**

<Tosenbo[®]概要>

- ✓ 出口対策型不正侵入遮断システム
- ✓ ハッカーが使用するC2サーバ不正通信対策により、入口対策では防ぎきれない脅威をブロック
- ✓ デジタルデータソリューション株式会社と業務提携し、同社の遮断システムを活用

DDS
 DIGITAL DATA SOLUTION INC.



EV充電インフラ提供のTerra Motors株式会社と業務提携



狙い：

- ✓ マンションや施設の資産性・利便性向上とSDGs への貢献加速
- ✓ 相互顧客送客によるサービスの付加価値向上と両社の事業発展加速
- ✓ テラモーターズ社のTerra Charge*を取次を通じ、当社ホームユース事業における顧客満足度の向上



Terra Charge電気自動車向け充電装置

*Terra Charge：テラモーターズが2022年4月より開始した電気自動車向けの充電インフラサービス

「オフグリッドパワー蓄電池」(仮称)の開発に着手

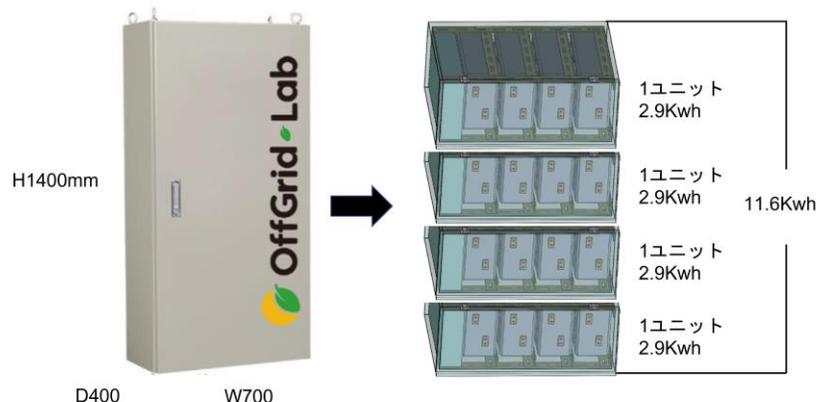
～集合住宅等あらゆる施設へ、長寿命かつ汎用性の高い蓄電池の開発～

建物内に設置された蓄電池を連携させ、電力融通をさせる

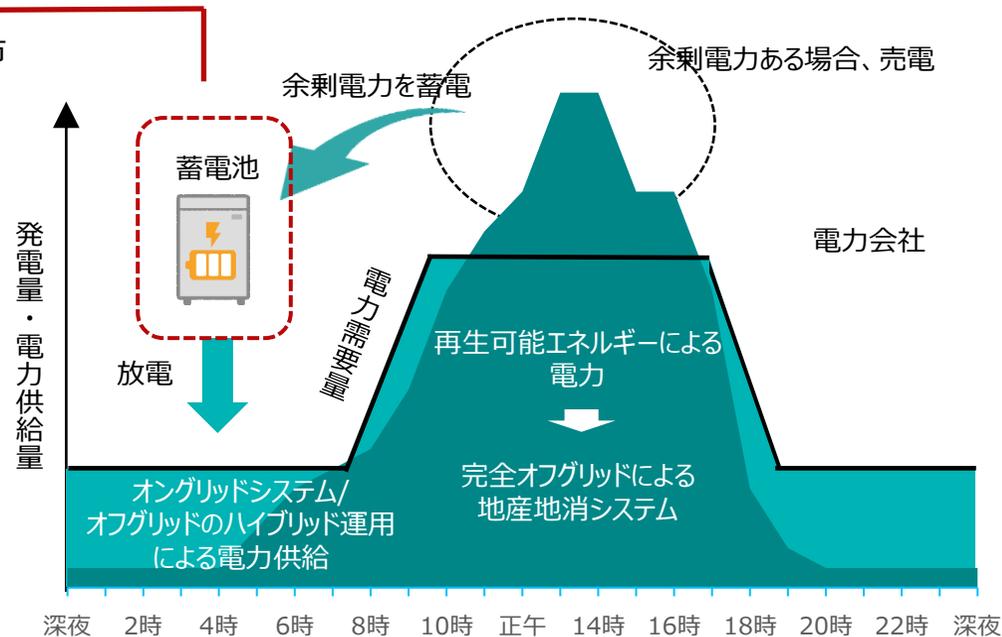
→各蓄電池に充電された電気を効率よく使用させることを目的

→**集合住宅全体の購入電力を削減し、電力自給率を向上させることが可能**

2023 年末頃の完成を目指し、北海道札幌市の集合住宅において実証実験を行う予定



※ (仮称) オフグリッドパワー蓄電池



① ワンストップのビジネスモデルを実現する、職種ダイバーシティ

一気通貫ですべて対応するため、様々な職種が存在

▶ 様々な職種の経験を通じて社員のスキルアップを実現

② 変革に対応できる組織風土づくり

経営戦略としての人事戦略

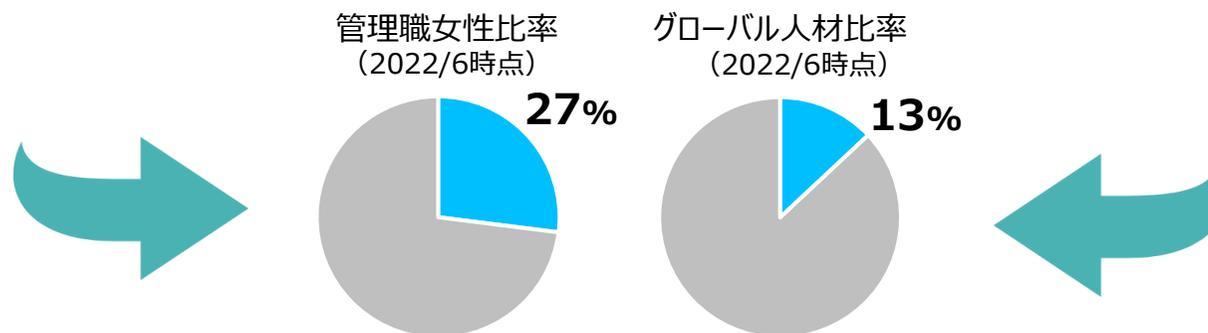
- ✓ 次世代リーダーの選抜・育成
- ✓ 社内公募制度
- ✓ 従業員エンゲージメントの可視化による見直し

仕事を通じた自己実現、やりがいを支援

- ✓ 社内教育、資格取得支援制度の充実
- ✓ 表彰制度の確立・運用
- ✓ 副業制度の活性化

人材・働き方多様化への対応

- ✓ ダイバーシティ&インクルージョンの促進
- ✓ 柔軟な働き方（フレックスタイム制、育児休暇取得）の促進
- ✓ 多機能組織の適正な評価システムの導入



Misson3

より良い社会に向けて、
環境保護・保全活動に取り組みます

**再生可能エネルギーによる環境保護**

2022年3月に埼玉県川口市に再生
可能エネルギー対応のマンションを建築

▶ オフグリッドパワー蓄電池の開発開始

Misson4

通信サービス・Wi-Fiを通して
人々の生活や教育にイノベーションを図ります

**Wi-FiサービスとEV充電で脱炭素化
への促進と人々の生活向上に貢献**

▶ EV充電の提供会社と連携し
ホームユース事業の向上

Misson5

パートナーシップによる
あらゆる人の安全な暮らしに貢献します

**Home IoTによる住環境のIT化
推進とセキュリティ強化**

▶ FGスマートコールで宅配業界
の業務効率化と住環境改善

地域団体と連携したインフラ提供

▶ 地域最大級クラフトフェア「CERAMIC
VALLEY CRAFT CAMP 土岐」に
イベントWi-Fiを用いた通信環境構築実施



CERAMIC VALLEY
CRAFT CAMP 土岐

期末配当予想の修正（創業20周年記念配当）

2023/12に当社は創業20周年。これを受け、2023/6期の期末配当金において1株当たり2円の記念配当を実施の予定。普通配当7円に記念配当2円を加え、1株当たり9円を計画

	配当額		
	第2四半期末（実績）	期末（計画）	年間合計
<2023/6期計画>			
前回予想 (2022年8月12日公表)	0.00円	7.00円	7.00円
今回修正予想	0.00円	9.00円 (普通配 7.00円) (記念配 2.00円)	9.00円 (普通配 7.00円) (記念配 2.00円)
配当性向			記念配込： 14.1% 普通配のみ： 11.0%
<2022/6期>			
前期実績 (2022年6月期)	0.00円	4.50円	4.50円
配当性向			8.5%

2024/6期の配当性向は
これ以上とする方針



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

Appendix



**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）
独立系Wi-Fiソリューション企業***

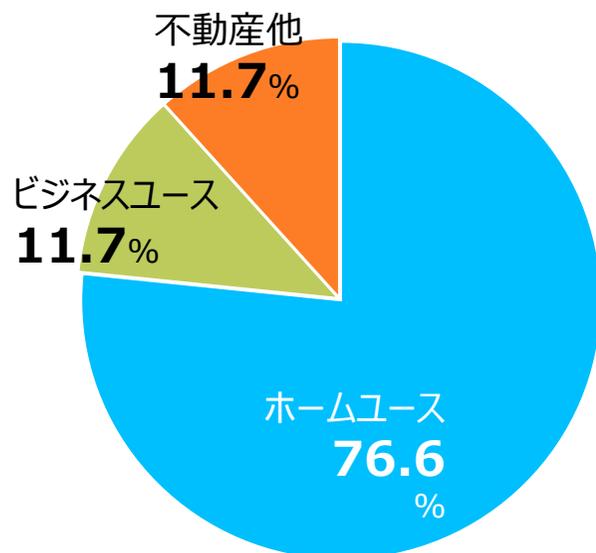
***独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在15社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの通信関連事業と不動産事業の計3事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、直近期の売上構成は76.6%
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳

2022/6期実績



<主力の通信事業>

ホーム ユース事業



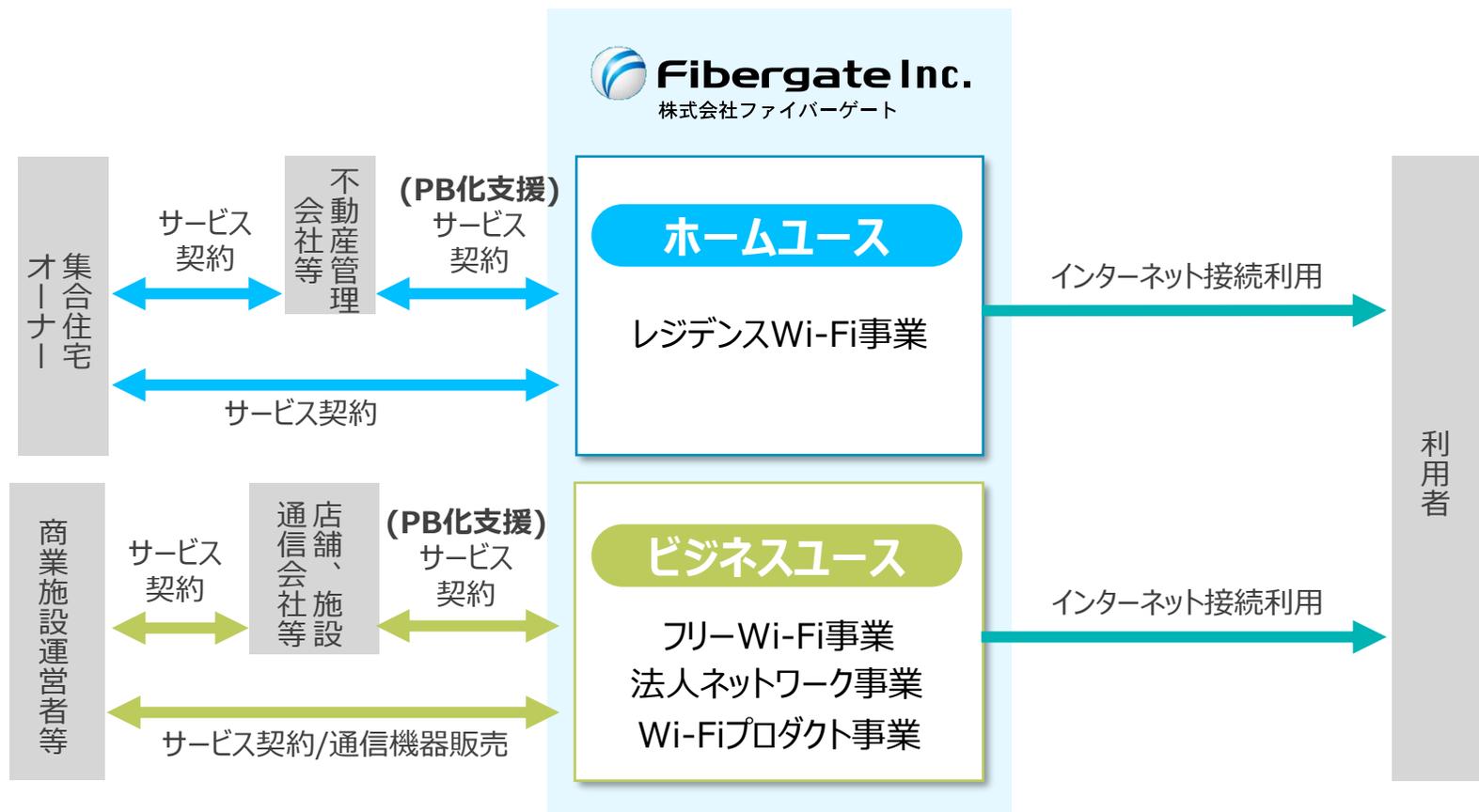
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー



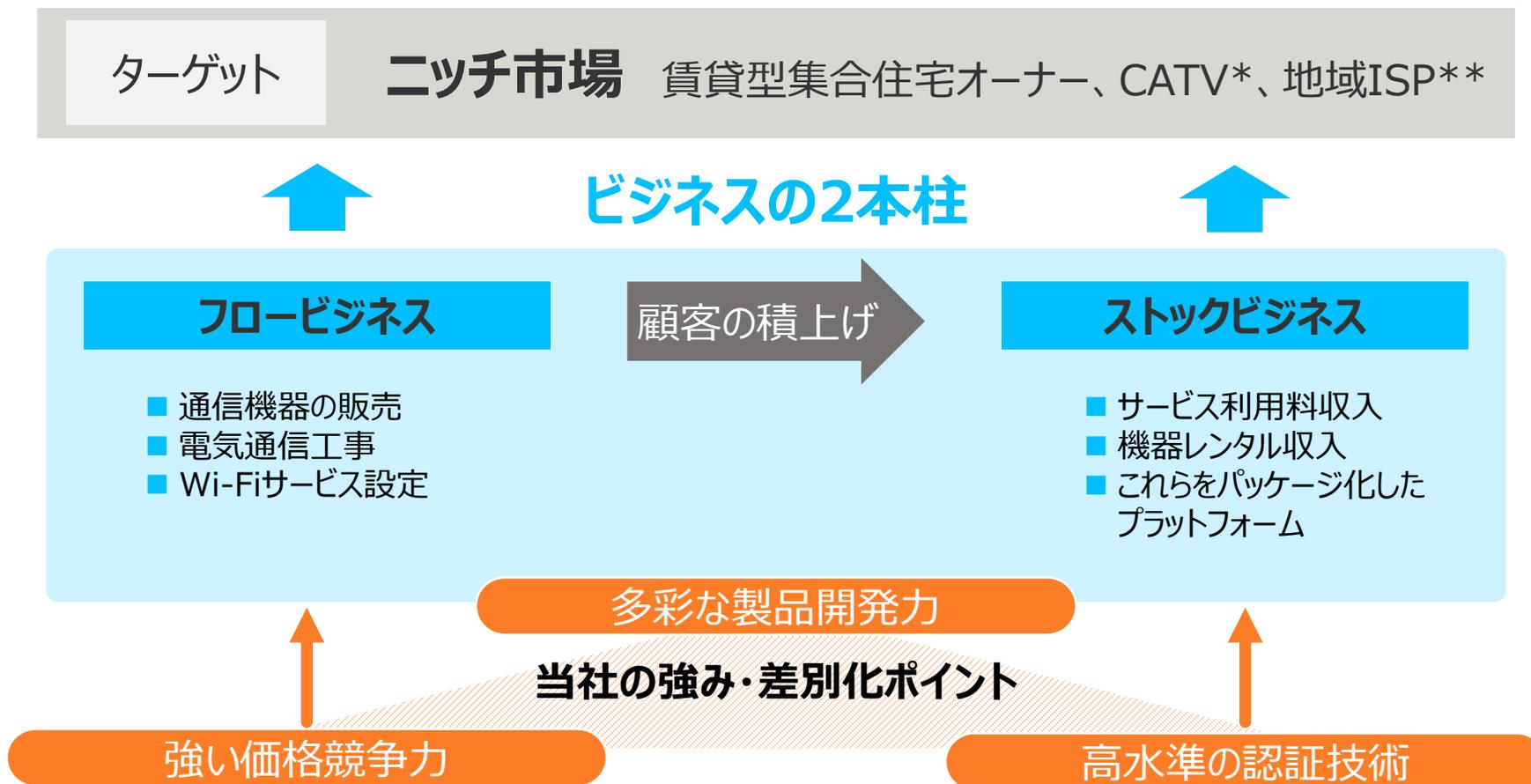
ビジネス ユース事業

- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

**ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

“すべての施設にWi-Fiを”

Alternative Career構想実現へ、端末領域を強化拡充

Forward to “Alternative Carrier”

～全ての通信のゲートウェイを目指して～



衛星通信



4G/LTE/5G



既に布石
構築済



WiFi

中期注力領域



年	内容
2000	➤ 国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立
2003	➤ 札幌市中央区に本社移転 ➤ 複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする
2004	➤ レジデンスWi-Fi事業を開始
2005	➤ Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始
2006	➤ PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始
2009	➤ フリーWi-Fiサービス事業を開始
2013	➤ コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立
2014	➤ 当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始 ➤ PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始
2015	➤ 電気通信工事事業認可（北海道知事許可）を取得 ➤ 台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立 ➤ 電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得
2018	➤ 東京証券取引所マザーズ市場に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2019	➤ 東京証券取引所第一部に上場市場変更 ➤ 札幌証券取引所に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2020	➤ プロダクト開発子会社FG-Lab設立
2021	➤ 不動産関連事業を行う子会社FGスマートアセットを設立 ➤ 再生可能エネルギー事業を行う子会社オフグリッドラボを設立
2022	➤ 不動産売買・保有を行うTMアセットの株式を取得

決算年月		2018/6期	2019/6期	2020/6期	2021/6期	2022/6期
売上高	(百万円)	3,977	5,446	7,424	8,491	10,624
経常利益	(百万円)	510	886	1,215	1,543	1,604
当期純利益	(百万円)	312	550	722	1,019	1,073
資本金	(百万円)	401	426	479	488	494
発行済株式総数	(千株)	4,761	9,807	20,402	20,487	20,591
純資産額	(百万円)	1,380	1,981	2,710	3,677	3,279
総資産額	(百万円)	4,364	5,311	6,984	9,397	13,087
1株当たり純資産額	(円)	144.92	202.06	133.52	180.40	160.74
1株当たり当期純利益金額	(円)	81.62	57.60	36.19	50.11	52.60
自己資本比率	(%)	31.62	37.30	38.80	39.13	25.06
自己資本利益率	(%)	34.82	32.77	30.81	31.92	30.86
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	808	1,345	1,732	1,710	2,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	▲1,328	▲1,389	▲2,071	▲2,256	▲2,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	868	▲15	699	1,326	436
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	1,118	1,058	1,415	2,196	2,303
従業員数	(人)	141	159	180	221	231

ご清聴ありがとうございました。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
経営企画本部 IR担当
0120-772-322
fgir@fibergate.co.jp